

Q1 登米高校でお気に入りの場所

息子：毎日汗をかいた野球グラウンド

父：勉強より高校野球がメインだったので部室とグラウンドです。高校生活のすべてでした。

Q2 ○○先生との思い出

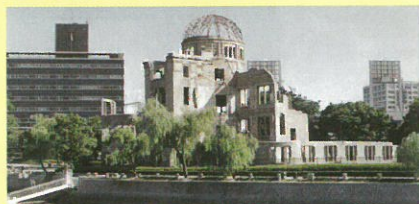
息子：現在は別の高校に行ってしまいましたが、1年生の時担任の永田先生と一緒に過ごした日々が思い出です。

父：当時の野球部監督の佐藤孝喜先生と部長の高橋武比古先生には大変お世話になりました。社会人になって25年、お二人の教えが役立っています。

Q3 特に印象に残っている行事

息子：3年生最後の球技大会をクラス全員で楽しむことが出来たこと。

父：広島への修学旅行が印象に残っています。原爆ドームを見学し、戦争と原爆の悲惨さを初めて学び、ショックを受けたのを覚えています。

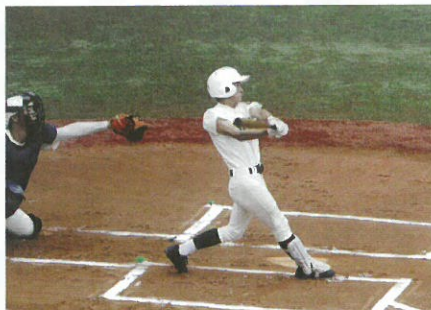


Q4 現在のマイブーム

息子：乃木坂46

Q4 当時、流行していたこと

父：音楽ではMr.ChildrenとB'zが全盛期でかなり聴いていました。



息子：三田 新大(3年)



前列左から2番目 父：三田 卓也さん

Q5 通学方法

息子：自転車

父：自転車

Q6 制服の着こなし(新制服になってから5年経過)

息子：ルールを守って着ています。

父：黒の学ランでしたが現在の息子達のように学校指定ではなく何でもありの時代でした。短ラン、ボンタンが主流で自分も着ていました。標準の学生服を着ていたのは2~3人程でした。ちなみに女子はルーズソックスが流行しはじめた時です。

Q7 売店でよく購入している食べ物

息子：焼きそばパン

父：カニパン、ピザパン大好きでした。

Q8 部活動

息子：硬式野球部(父と同じ主将)

父：硬式野球部(3年生で主将でした)

*今後の登米高に望むこと

息子：年々、入学する生徒が少なくなっているのので、登米高校を盛り上げるための工夫をしてほしい。

父：毎年、入学希望者の減少が顕著に見られます。成績を追求するなら佐沼高校。専門性を追求するなら登米総合産業高校という流れが登米市にはあるようです。登米高校の新しい特色を是非考えていただきたいと思います。

Q9 高校に入学してから、気になった社会の出来事

息子：あおり運転 大人として恥ずかしいと思える行動

父：湾岸戦争勃発とJリーグ発足。特にJリーグ発足については野球をしていた自分もサッカーファンになりました。

Q10 高校時代のエピソード(思い出)

息子：友達と毎日ワイワイ騒ぐことが楽しい

父：高校三年生夏の大会で仙台育英と三回戦で対戦したこと。四回までは0対0でしたが結局コールドで負けました。

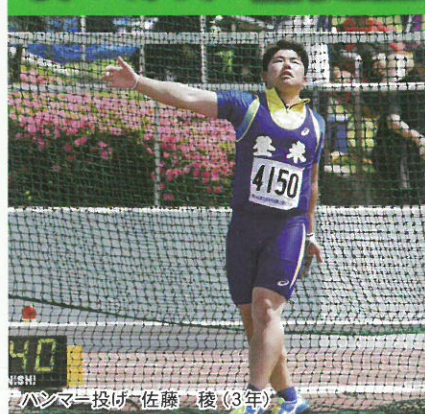
Q11 友達とよく遊びに行くところ

息子：友達の家(小野寺航大君)

父：同級生○○君の家。仲間と徹夜で朝までゲーム。楽しい思い出です。

中田・石越支部 佐藤 祐子
 入部して早々に、「俺、インターハイに行くから」と宣言。中学でも陸上部で砲丸投げ、高校ではハンマー投げと出会うが、専門の指導者がおらず、他の学校の指導者に教えてもらうこともあり、自分なりに練習をしている姿を見て来た。高校最後の支部総体が終わり、東北大会、インターハイに向けての練習はとてもハード。だが、東北大会を目前にして腰に痛みが……病院での検査の結果、「腰椎分離症(疲労骨折)」との診断、全治三ヶ月。ひどい痛みは薬を飲んでもあまり効果はなく、それでも、目標に向かって練習する息子。(心が折れそうになる……)大会ごとに自己記録を更新していた息子……東北大会でも自己ベストを上回る記録を出し、宮城から息子が決勝へ進出。ずっと戦ってきた、ライバルからの応援、あと一歩のインターハイ……結果はベスト8。あと55cm、あの時のハンマーがファウルにならなければ……と涙する息子、そんな姿を見守ることしか出来ない私。中学から追っかけをして、「もうこれで終わり」なんだあーと思うと淋しく「来月何もない」と思うと少しつまらない。最後に、追っかけ最高！息子よ、私に陸上の楽しさを教えてくれて、ありがとう。(7)

おっかけ 奮闘記



ハンマー投げ-佐藤 祐子(3年)